

【協働の評価】

協働で進めて いきたい理由	落書きのないまちづくり
協働の 成果・効果	【協働の成果目標】 落書きのないまちづくり
	【達成できた点】 発見通報があった落書きについては、消去できている。 自治会・町内会への周知。 関係機関との連携。 市民・事業者への支援及び指導。 【達成できなかった点】 落書き犯人の逮捕
相互評価 ※上手くいったこと 問題点・課題など	【事業実施前】 ★3 ○市 平成 19 年度に市民活動団体と鎌倉市による協働事業に市提案事業として協働団体を募集し、応募の鎌倉を美しくする会と開始した事業で、これまで、長い間、協働事業を行い様々な問題点など多々ありましたが、修正しながらこの事業に取り組んでおり、円熟期を迎えていると考えています。 ○団体 団体の高齢化が問題である。 事業の継続の検討が必要である。
	【事業実施中】 ★4 ○市 長年に渡り、落書き事業に取り組み経験ノウハウもあり、市としては必要な事業であると考えている。 ○団体 高齢のため、落書きパトロール、資料作成など高齢化のため、対応することが難しくなっている。
	【事業終了時】 ★5 ○市 毎年、素晴らしい活動と成果をあげ、市にとっても、重要な事業を行っていただいた。ただし、依然として落書きは、書かれている状況、犯人の検挙が必要であると考えます。 ○団体 発見通報のあった落書きについては、消去できている。 関係機関との連携。 市民・事業者への支援及び指導。 ○問題点・課題 後継者の育成 事業継続の必要性
今後の展望	事業の継続及び後継者の育成等